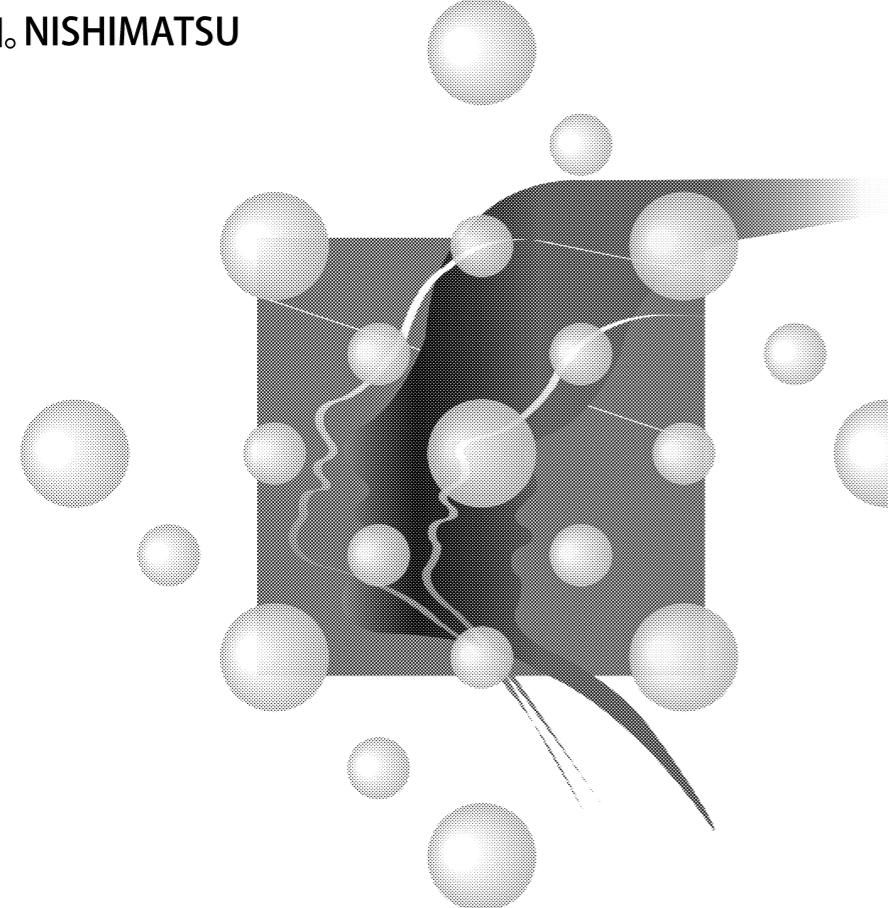


自然との調和。NISHIMATSU



自然と人との架け橋。私たちは快適な空間を創造します。

自然と人との共生。快適な空間の創造。

これこそ人類全てが目標に掲げ、次世代に受け継がなければ
ならないテーマです。私たち西松建設は、この精神を忘れず、
これからも自然と技術が融合する環境づくりを目指します。

西松建設

〒105-8401 東京都港区虎ノ門1丁目20番10号
電話 03(3502)0232
<http://www.nishimatsu.co.jp/>

点検結果を評価する技術
するノウハウがない
厳しい財政事情の中で
インフラメンテナンスを
求めている
市町や村から
は計画策定を
され、「長
寿命修繕計
画」策定を
して管理す
る。
は今に始ま
ったことでは
なく、国土交
通省は5年
ほど前からま
す道路橋を
点検を委託
している
が、小所
の町や村は
は計画策
定を「長
寿命修繕計
画」策定を
して管理す
る。(橋本鋼太郎
土木学会会長)
といえる。今後
は効率的な点
検技術など
の開発に加え、
課題を產学
官で共有し、
横断的に統合
していく取り組み
が必須とされて
いる。

メンテナンス分野の発展

我々の日常生活を支える道路、鉄道、港湾、河川施設など多様な社会インフラは国や自治体など管理者が多岐にわたる。コンクリート製、鋼製など異なる材料で同様の機能を果たしているケースも少なくない。これら「細分化された状態が老朽化問題を隠しに追いやっていた側面がある」という感覚が「いつかはいつまでも残る」(橋本鋼太郎土木学会会長)といえる。今後、メンテナンス分野の拡大・発展のために効率的な点検技術などの開発に加え、課題を產学官で共有し、横断的に統合していく取り組みが必須とされている。



土木学会委員会編さんの書籍

建設産業



Mr. PENTA

その先の向こうへ

GOING FURTHER



東京都文京区後楽2-2-8

<http://www.penta-ocean.co.jp>

1896年、広島県呉市にて創業した当社は、
進取気鋭の精神と先端の建設技術をもって社会に貢献し、
社会とともに成長してきました。
創業100余年、新たなフィールドへ常に挑戦し続ける心は、
いまでも当社のDNAに引き継がれています。
時代が変わっても変わらないチャレンジスピリットと、
時代の変化に応じた柔軟な自己革新力。
現状に甘んじることなく、一步一歩着実に、前に進む。
その先の向こうへ...五洋建設

防災のトビシマ

建ててから始まる真のお付き合い

防災のトビシマ

豊富な経験と技術力を生かし、
安全で安心な社会づくりに貢献します。

飛島建設

本社／神奈川県川崎市高津区坂戸三丁目2番1号
〒213-0012 TEL.044(829)6750
<http://www.tobishima.co.jp>

庄子自で挑戦する

持続可能な社会へ

このほか土木学会関西支部では、社会インフラの維持管理に関する支部独自の取り組みとして、支部長懇談会による提言を11年4月に取りまとめた。この提言では、持続可能な維持管理のために予算措置と合理的な管理水準の検討や、人材の供給・育成、市場化・魅力化、研究開発が重要とされた。提言に基づき、社会基盤施設の維持管理のための各種スキーム検討委員会(委員長：古田均閣西大教授)が設置された。同検討委員会では、維持管理に関する資格や教育プログラムの現状を整理し、そのあいだ姿やスキルについて検討する「教育分科会」と、維持管理に関する国際展開の可能性などを検討する「国際展開分科会」

が活動し、成果が9月27日に報告される予定。また10年に創設された土木学会認定「土木技術者資格制度」では、技術者などの他の資格制度に

はない「メンテナンス分野」が設定されている。その資格要件は、土木構造物のメンテナンス・技術支援に関する知識や経験を有し、非破壊検査、モニタリング、健全度評価などの手法、補修技術、ライフサイクルコスト評価などを有する知識を有していることである。メンテナンス分野の全国120人ほどの資格持有者がそれぞれの地域で活用されることが期待されている。

土木学会では、このよ

うに現在でも社会インフ

ラの維持管理・更新に関するさまざまな取り組みを推進しているところであります。今後は、社会インフラの基礎を確立させ、さら

に維持管理・更新に関する取り組みがより効率的に多くの国民の支援が得られるようになります。今後は、社会インフラ・メンテナンス工学の基礎を確立させ、さら

な社会を実現してゆく

土木学会認定土木技術者資格と要求される能力	
●特別上級技術者	Executive Professional Civil Engineer
経験によって培われた高い倫理観、専門分野における高度な知識および広範な見識により、日本を代表する技術者として土木界さらには社会に対しても、多面的に貢献できる能力。	
●上級技術者	Senior Professional Civil Engineer
複数の専門分野における高度な知識と経験、あるいは土木技術に関する総合的知識を有し、重要な課題解決に対してリーダーとして任務を遂行する能力。	
●1級技術者	Professional Civil Engineer
少なくとも1つの専門性を有し、自己の判断で任務を遂行する能力。	
●2級技術者	Associate Professional Civil Engineer
土木技術者として必要な基礎知識を有し、与えられた任務を遂行する能力。	

土木学会全国大会

9月4日開催

土木学会は9月4日から6日までの3日間、日本大学生産工学部津田沼キャンパス(千葉県習志野市)で、平成25年度全国大会を開く。大会テーマは「土木が築いた今日と、切り拓くべき未来」。大会の中では、「社会インフラのメンテナンス特別企画」を設け、社会インフラの維持管理・更新に関する講演・セッションなどをとりまとめて実施し、参加促進を行なう。特別企画に関連する主な講演・セッションは次の通り。

△基調講演会(5日13時半～14時)

セッションは次の通り。

14時

25分

「信頼される土木学会をめざして社会貢献を実践する」/橋本鋼太郎土木学会会長

△特別セッション(6日12時40分～15時20分)

「これから社会にいき

る」/東北大学生教授

土木交通大臣

△国際パネルディスカッショ

ン(4日12時40分～15時55分)

「持続可能な社会を実現する社会イン

フラの適切な維持管理・更新のあり方

△特別セッション(6日12時40分～15時55分)

「土木学会で取り組むべき課題

△対処戦略」/田仁東京大学教授

木基行東北大

△国際パネルディスカッショ

ン(4日12時40分～15時55分)

「持続可能な社会を実現する社会イン

フラの適切な維持管理・更新のあり方

△特別セッション(6日12時40分～15時55分)

「持続可能な社会を実現する社会イン

フラの適切な維持管理・更新のあり方

△特別セッション(6日12時40分～15時55分)